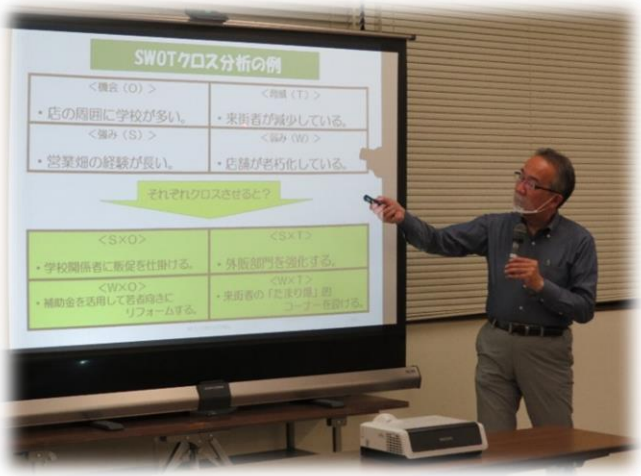
伴走型小規模事業者支援推進事業

河辺雄和商工会で国の認定を受けて取り組んでいる『経営発達支援事業』概要

「事業計画策定セミナー」の開催



11 月 15 日（火）には事業計画書作成の基本と**補助金に採択されるポイント**について学びました。

12 月 8 日（木）には DX という手段を使った**「売れる仕組みづくり」**について学ぶと共に、すぐにできる **SNS と Google マップ活用法**を習得しました。

EC サイト(アンテナショップ)等出展支援

EC サイト等の出展にあたり、出展効果を高めるために専門家を派遣して、県内外への販路開拓を支援しました。

支援の中では、各事業所の商品に適した EC サイトの提案や、「価格・ボリューム感」の設定、「パッケージ」の改良、掲載する画像の**「商品の見せ方・撮影ポイント」**を伝授いただきました。

専門家派遣の様子
EC サイト出展で不安な点はその場で解決！

河辺雄和商工会の「経営発達支援計画」

【計画期間】 令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日（5ヵ年）

【到達目標】
- **個社支援強化**による戦略的経営の実現
- 地域の強みを最大限に活かした**創業支援**
- 地域経済の持続的発展のための**事業承継**

【主な事業】
① **地域の経済動向調査に関すること**
② **経営状況の分析に関すること**…上記調査結果から対象者を選定し、経営分析を支援。
③ **事業計画策定支援に関すること**…事業計画の策定に加え、事業承継、創業計画等の策定を支援。
④ **事業計画の実施支援に関すること**
⑤ **需要動向調査に関すること**…商品アンケート調査の実施・分析、課題解決サポートを徹底。
⑥ **新たな需要の開拓に寄与する事業**…販路開拓のための EC サイト支援。

中小企業景況調査に基づく分析

商工会では、全国商工会連合会に協力して四半期ごとに管内企業の景況調査を実施しています。

この度、令和 4 年 4～6 月期、7～9 月期、10～12 月期の調査結果を踏まえ全国と河辺雄和地区の景況感を天気図でご紹介します。右上のＱＲコードからも御覧頂けます。

＜全国と当地域の景況ＤＩ値の比較＞

※ＤＩ値とは…
「好転」と回答した企業の割合から、「悪化」と回答した企業の割合を引いた数値

	全　国（n： 約 8000 社）					河辺雄和（n：15 社）				
	4～6 月期	7～9 月期	**10～12 月期**	前期比	景況感	4～6 月期	7～9 月期	**10～12 月期**	前期比	景況感
売上高	△11.3	△11.4	**△10.6**	+0.8		△20.0	△6.7	**△6.7**	±0	
採算	△33.5	△34.9	**△35.1**	−0.2		△26.7	△20.0	**△20.0**	±0	
資金繰り	△16.8	△17.6	**△17.8**	−0.2		△20.0	△26.7	**△6.7**	+20.0	

＜当地域の業種別天気図（R4.10～12 月期）＞

	河辺雄和（n：15 社）			
	製造業	建設業	小売業	サービス業
売上高				
採算				
資金繰り				

＝天気図の解説＝

DI30以上	DI10以上 30未満	DI△10以上 10未満	DI△30超 △10未満	DI△30以下

※ＤＩ値がマイナスの場合は、悪化したと回答した企業の数が多い事を示します。

＜主な分析コメント＞

（全業種）当地域では全ての DI が全国 DI より上回った

・全国の売上額 DI は改善しているものの、その上昇幅は 1 ポイントに満たず、採算、資金繰りの悪化幅もそれぞれ 0.2 ポイントとわずかであり、DI 水準は前回から大きくは変動しておらずほぼ横ばいの状況が続いている。

・今回の結果は主要 3 DI 共に変化の幅はそれほど大きくはなかったが、先行きの不透明さなどを背景として景況はやや足踏み状態にあることを示している。新型コロナウイルスの今後の状況や、物価高、円安など、中小企業の先行きへの影響を及ぼす懸念材料は依然として複数存在する。

（製造業）コスト面の懸念がさらに拡大する製造業

・経営上の最大の問題点は 5 期連続で「原材料価格の上昇」となっている。

・その他経費の増加を指摘する割合も増えており、コスト面の不安は引き続き大きくなっている。

（建設業）材料価格上昇などを背景として前期から悪化した建設業

・経営上の最大の問題点は 7 期連続で「材料価格の上昇」となっている。

・1 年前と比較して「増加・上昇・好転」したという回答割合は完成工事額と資金繰りで上昇している。

（小売業）売上額は改善したものの採算、資金繰りはわずかに低下した小売業

・経営上の最大の問題点は 3 期連続で「仕入単価の上昇」となっている。

・増加幅が 1 番大きかったのは「人件費以外の経費の増加」でコスト面での問題を指摘する経営者が多い。

（サービス業）売上額、資金繰りは小幅ながら改善したサービス業

・「飲食店」「運送業」は全ての DI が上昇したが、「洗濯・理美容業」「その他のサービス業」は 3DI が低下した。

・経営上の最大の問題点は 3 期連続で「材料等仕入単価の上昇」となっている。